

認知症

早期発見・早期対応が 大切です！！

このような症状でお困りではありませんか？

同じことを
何回も言ったり
聞いたりする

冷蔵庫に
同じ食材が
たくさんある

保険証やカギなど
をなくすことが
増えた

認知症の困りごと・心配ごとに

認知症初期集中支援チーム

がサポートします

一人で抱え込まずに、まずはご相談ください。

地域包括支援センター ☎ 32-0661

認知症初期集中支援チームとは

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、専門職がチームになって、あなたとご家族をサポートします。チーム員は医療、福祉、介護の専門家たちで構成されています。



どのようなことをするの？

チーム員が家庭訪問をして様子を確認し、生活・介護上のアドバイスや、病院受診・介護サービスの利用調整などを行います。おおむね6カ月間を目安に集中的に支援します。



対象となる人は

40歳以上で、自宅で生活している認知症が疑われる人または認知症の人で、以下の例に当てはまる人が対象です。

- 認知症の診断を受けていない人や、診断は受けたが治療を中断している人。
- 適切な介護サービスを受けていない人。
- 医療や介護サービスを利用しているが、認知症による症状が強くなり、どのように対応してよいか困っている人。



認知症かもしれないと思ったら… チェックしてみましょう

認知症による変化は、本人よりも周りの人の方が気づきやすいことも多いため、ご家族などが一緒にチェックしましょう。（出典：公益社団法人 認知症の人と家族の会）

もの忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる。
- 同じことを何度も言う・問う・する。
- しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探し物をしている。
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う。

判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった。
- 新しいことが覚えられない。
- 話しのつじつまが合わない。
- テレビ番組の内容が理解できなくなった。

場所・時間がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった。
- 慣れた道でも迷うことがある。

人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった。
- 周りへの気づかいがなくなり、頑固になった。
- 自分の失敗を人のせいにする。
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた。

不安感が強い

- 一人になると怖がったり寂しがったりする。
- 外出時、持ち物を何度も確かめる。
- 「頭が変になった」と本人が訴える。

意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみをかまわなくなった。
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった。
- ふさぎ込んで何をやるにもおっくうがり、嫌がる。

これは医学的な診断基準ではなく、あくまでも目安となるものです。いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医や地域包括支援センターへご相談ください。

☆ 介護予防事業「まる元」運動教室(からだ) ☆

北翔大学開発の運動プログラムなどを、健康運動指導士が体を動かす軽い体操や脳を鍛える体操を取り入れながら楽しく行っています。体力に合わせたA・B・Cの3クラスで運動教室を開催しています(見学・体験も随時受付中)。

- 場 所 交流センターみらい4階かたらいホール
- 受講料 1カ月1,000円
- ※教室の運営上、3カ月または6カ月の前納制となっていますのでご了承ください。

- クラス分け・日時 毎週木曜日
- ★ Aクラス 13:00~14:00
いすに座ったままできる軽い体操
- ★ Bクラス 10:00~11:00
足腰を鍛え、バランスを保つための軽い運動
- ★ Cクラス 14:30~15:30
屋内でのウォーキング、ニュースポーツなど

■ 問合せ・申込み
地域包括支援センター ☎ 32-0661

